

# Aesthetics and Art History



## 徹底した演習で確実に藝大突破！

本コースでは、東京藝大芸術学科の志望者を対象に、確実に入試を突破するための問題演習と解説講義を実施しています。大量の過去問題と予想問題に触れることで実力を養成し、試験時間どおりに問題を解くことで、試験本番でのペース配分を身につけます。講義では、講師が作成した模範解答や過去の合格者の参考作例など、豊富な資料を提供した上で、充実した解説を行います。

## 受験に留まらない豊かな知性と感性を養成します

入塾すれば、同じく美術が大好きで藝大を目指している仲間たちに出会えます。彼らとの関わりはきっと皆さんを成長させてくれることでしょう。更に、講師一同は、問題演習だけでなく、合格者座談会や美術史講義など、皆さんの感性と知的好奇心を揺さぶる、多彩なイベントを用意して待っています。大学入学後の研究にもつながる、本物の実力を身につけましょう。

2024年度 東京藝大 合格者数 日本一

12名〔現役生 8名〕 過去10年で9回 日本一の実績

## 一人ひとりの目線に立って…

毎回の演習で作成した答案は、講師が一人一人丁寧に添削した上でお返しします。歴史にしても小論文にしても、論述は細部の言い回しや文章構成などについて客観的な指摘を受けないとなかなか上達しないものです。本コースはそんな受験生の必要にしっかり対応します。また、定期的に面談を行って、共に学習方法を模索していく他、質問や進路相談にもその都度対応しています。

## 素描選択にも対応！

2025年度より専門二次試験素描受験対策コースが新設されました。東京藝大芸術学科の課題に即した、専門の講師による指導が受けられます。実際に描いてみることは絵画の本質的な理解にもつながるはずです。選択を考えている方はまずはご相談ください。

## 主要指導スタッフ

講師一覧 P.80

田口仁



## 芸術を通して 世界を見つめる

高3・卒生対象	芸術学専攻	東京藝大小論文選択日曜専科	〔日〕	9:30-18:00
		東京藝大素描選択日曜専科	〔日〕	9:30-18:00

高2生対象	芸術学専攻	東京藝大高2月曜専科	〔月〕	17:30-20:30
-------	-------	------------	-----	-------------

芸術学は美術史と美学からなる学問領域です。作品やイメージを手掛かりに歴史や人間について研究したり、芸術の魅力を言葉や企画などで表現することで、多くの人に伝えることもできます。

高3・卒生コースでは、主に東京藝術大学芸術学科の個別試験対策を行います。個別試験とは、大学入試共通テスト（外国語必須 / 合計3教科3科目又は4科目）以外に課される、英語、歴史、小論文（あるいはデッサン）の専門試験のことです。英語では芸術に関する英語の専門文献の和訳、歴史では文化史を重視した日本史・世界史の問題が出題されます。小論文では、与えられた作品図版の形式や意味の分析や、芸術に関わる事象や概念についての意見が求められます。

これまでに美術を専門的に勉強したことがなくても、1年間しっかりと対策に取り組めば、充分に合格がめざせます。なにが描かれているか、どのように描かれているか、なにを表現しているか…。作品から時代・様式の特徴や作者の魅力を読み取る力の基盤となる、確かな知識が身につけられます。

2025年度より新たに東京藝大高2月曜専科を設置します。早期から対策を始めることによって合格をより確実なものにできます。美術史・美学の豊富な講義で、受験年からでは学ぶことが難しい専門知識も楽しく身につけられます。

## 高3・卒生 CURRICULUM

春期講習	レギュラー講義前期	夏期講習	レギュラー講義後期	直前講習
3月下旬〔1週間程度〕  東京藝大入試の傾向と対策を紹介するガイダンスを実施し、実際に英語・歴史・小論文の演習に取り組みます。  藝大芸術学科を受験する上で知っておくべき基本的な情報を身につけることができます。  まだ受験を迷っている方も気軽に受講してください。	4月～7月  英語 ○ 基礎力の養成とリわけ文構造の把握に重点を置いた解説を行います。  歴史 ○ 日本史・世界史ともに、古代・中世を中心に基礎的な論述演習を実施します。  小論文 ○ テーマ型・作品記述型、いずれのタイプの出題についても、書き方のポイントを丁寧に解説します。小論文全般に共通の基本的な形式から学んでいきます。	8月〔2週間程度〕  前期講義で培った基礎力で、過去問など更に実践的な問題演習を行います。短期間で演習を繰り返すことで、実力アップをめざしましょう。  合格者座談会や美術史講義など、楽しいイベントも予定しています。  最終日に行う藝大模試は貴重な機会です。この時期に実力を自覚しておくことが、後半の成長への布石となります。	9月～1月  英語 ○ 難易度の高い問題に基本的には辞書を使わずに取り組みます。内容理解を踏まえた訳語の選択を強化します。  歴史 ○ 近代以降を学習範囲に加え、通史やテーマ史など深い理解が要求されるような問題にも取り組みます。  小論文 ○ 前期に引き続き、さまざまなタイプの問題に触れます。文章構成はもちろん、内容も充実した答案を作れるように頑張りましょう。  冬期講習 高3・卒生コースは冬期講習を実施しません。12月下旬～1月上旬の間は大学入試共通テストの対策に集中しましょう。	1月末～2月下旬  一か月間集中的に、藝大の過去問や予想問題を浴びるように解きます。ハードなスケジュールになりますが、毎日の復習をしっかりこなしてついていけば、ここまでの実力を身につけることができます。ここまでの学習をじっくり復習し盤石の状態に仕上げましょう。  藝大試験 2月末日 最終合格発表 3月中旬
高2生 月曜専科 CURRICULUM	レギュラー講義前期 英文読解講座基礎編、小論文講座入門編、美術史・美学講座 part1	夏期講習 英語、小論文集中講座、確認テスト	レギュラー講義後期 英文読解講座発展編、小論文講座応用編、美術史・美学講座 part2	冬期講習 実践問題演習 本番テスト



右に提示された作品の造形的特質を記述しなさい。

〔解答例〕

**1**冒頭で主題を明確にできているのは◎です！  
一方、女性と何かを告げる天使の絵なのですから、これは「受胎告知」の場面で女性マリヤだとはつきり指摘できるとよかったですね。それによって描写が作品に与える効果の解釈も変わってくるでしょう。

**4**確かに遠近法が不完全なようにも思えます。しかし、その不完全さが生み出す積極的な効果を考えてみましょう。

**5**まるで空白を恐れているかのようです。この「圧迫感」を生み出しているものとして、緻密な描写にも言及したいところでした。その隙の無い細密さと驚くべき質感描写が生み出す事物の存在感が、見るものを圧倒します。

**8**分析を最期でまとめようとしてくれているのは◎。  
ただし、第一段落で触れた構図・空間の分析が含まれない結論になってしまっています。構成段階でしっかり吟味しておきたかったですね。

正方形に近い画面には、**1**狭い部屋で読書する女性と、彼女に何かを告げようとする天使が描かれている。この作品を見てははじめに気がつくのは空間表現に対する違和感である。二人の人物の間にある**2**テーブルは天板が鑑賞者の方向に向かって傾いているように見えるのだ。人物とは描かれてる視点の位置からすると、テーブルに乗せられたモチーフが手前に転がり落ちてきそうである。また女性の隣の椅子も女性との位置関係が不明瞭で、**3**女性と椅子はまるで別の絵からコラージュされたようにさえ見える。**4**この画家は遠近法を熟知していないのであろう。

次に指摘したいのは、部屋の中に描かれた事物の描写である。テーブルの上には花瓶、燭台、書物が置かれているが、それだけでなく奥側の壁にも開かれた窓、吊り下げられたヤカンとタオル、ソファの後ろも大きな暖炉がある。

**5**画面は余白なく事物が描き込まれ、圧迫感さえ感じさせるほどの密度である。**6**しかし、手前の主題人物に対して色彩が抑えられており、目を楽しませつつも、鑑賞者の視線を混乱させることはなく、画中の出来事に集中させる。

最後に人物描写の特徴について述べる。抑えた色彩の背景に対して、読書する女性と天使の衣はそれぞれ赤と白とでコントラストをなし、鑑賞者の視線をよく引き付ける。

**7**この着物は画面下部を大きく覆い、複雑な折り返しと光沢の表現とあいまって、主題の人物の高貴さを印象付ける。

以上のことから、この作品は背景のモチーフを緻密に描きながらも、主題たる天使と女性を引き立たせることに成功しており、鑑賞者を絵画により深く集中させることを可能にしていると言える。**8**鑑賞者は、最初は主題に注目するが、次にその周辺のようなモチーフに気が付き、画面を幾度も往復することになるのである。

**2**空間に対する違和感を上手く言語化できています！

**3**確かにコラージュ的に見えますね。ここで指摘してくれているのは、「それぞれのモチーフを描く視点の高さが異なっている」ということでしょう。それを端的に要約できるといいですね。  
ここで更にもう一歩深めて、コラージュのように見える理由を考えてみられるとよりよかった。人物とテーブル、テーブルと椅子などモチーフ同士が重なり合わず、まるでパズルのように配置されています。

**6**様々な特徴が組み合わせられて生じる効果をよく指摘できています！

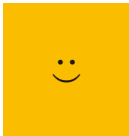
**7**このような装いのことを「ドレパリー」と呼びます。まるでその技術を誇示するがごとき存在感ですが、大きく広がっているにもかかわらず、他のモチーフと重なり、隠すことがありません。



図版  
ロベルト・カンピン  
《メロードの祭壇画（中央パネル）》  
1425-1430 年頃  
メトロポリタン美術館

#### 東京藝大合格者よるこびの声

河野 陽菜さん 現役合格  
東京藝術大学 芸術学科  
多摩美術大学 芸術学科  
武蔵野美術大学 芸術文化学科  
埼玉・浦和明の星女子高校



入試と同じ形式の問題に何度も取り組むことができるのはもちろん、解説授業では模範解答や他の生徒の参考解答が豊富に配られるので、そこから適切な文章の型や語彙を学ぶことができました。自分の答えが参考解答に選ばれると嬉しいものがあります！また、授業は週に1回なので、残りの日を共通テストに充てるなど、自分のペースで勉強を進められた点も良かったです。

三島 碧衣さん 現役合格  
東京藝術大学 芸術学科  
青山学院大学 比較芸術学科  
学習院大学 哲学科  
東京・國學院高校



受験勉強で大事なことは、あきらめないことだと思います。私は河合塾美術研究所のおかげで最後まで勉強を続けられました。1番の苦手科目の日本史では、初めは問題を解く際に教科書を使ってもどのページを見ればいいのか分からないほどでしたが、直前期には教科書なしでも解けるようになりました。的確なアドバイスや美術の知識、そして前向きな言葉をくださった先生方に感謝です。

若杉 泰地さん  
東京藝術大学 芸術学科  
上智大学 国文学科  
青山学院大学 比較芸術学科  
埼玉・県立浦和高校



私は夏期講習から参加し始めましたが、自分の実力に自信が持てず、その後の授業はしばらく参加していませんでした。しかし、先生からお電話をいただいたことをきっかけに、11月頃から復帰し芸大受験と本気で向き合い始めました。実践形式の授業は考え抜かれたもので、先生方の丁寧な解説とともにかなり力がついたと確信しています。特に20日間の直前講習で学んだことは本番で大いに役立ちました。最後の最後に自分のやってきたことを信じてあげられるかにすべてがかかっていると思います。最後まで諦めずに出し切って頑張ってください。

立川 亜子さん  
東京藝術大学 芸術学科  
神奈川・市立南高校



美研の先生方の授業は解像度が高く、受験の域を超えた+αの内容が興味深かったです。その授業でインプットしたこと、更に調べたことをノート何冊にも書き出しました。人物や建造物も描いているうちに小指にタコができたのにはびっくりです。当日はこのノートが私の安心材料となりました。実際問題用紙を開いてそれらの単語を目にした時はガッツポーズでした。美研での経験はこれからの学生生活で生き続けてくれる私の財産です。

大島 紗保さん 現役合格  
東京藝術大学 芸術学科  
東京・都立青山高校



『芸術学ってなに??』『えっ、今までそんなに深く芸術について考えたことない!どうしよう!』と右も左も分からない状態で東京藝術大学美術学部芸術学科への興味だけを抱えて入塾した私。そんな私を待っていたのは、人見知りの私でも気後れしないのんびりとした雰囲気でした。この雰囲気と先生方のご指導のおかげで、自分のペースを崩さず学習を継続することができました。ありがとうございました!!

描かれるモチーフの密度や色彩の対比などよい視点を示してくれています。段落分けもしっかりとできていますね ◎ / 一方、この「違和感」のある空間表現について、その効果を分析しきれなかったようです。果たして正確な一点透視でこの作品が描かれていたら、ひしめくモチーフはこれほど明瞭に見えたでしょうか？ 授業では北方ルネサンスの絵画に特徴的な空間表現とその効果についても解説しています。